

現行都市計画マスタープランの検証

(1) 人口、土地利用の目標と現状

	現行マスタープランのH37目標	H26現状
人口	17,100人	15,337人
住宅地	61ha	35ha
商業地	48ha	42ha
工業地	286ha	212ha

(2) 重点整備地区の施策実施状況

- ①クリスタルタウン地区（実施状況○）
 - ・都市再生整備計画事業により基盤整備実施、商業施設立地や企業用地造成済
- ②多気駅周辺地区（実施状況△）
 - ・地元協議を進めたが土地区画整理事業の合意は得られず、計画見直し中
- ③相可駅北及び県道勢和兄国松阪線沿道地区（実施状況○）
 - ・地元勉強会を通じて、道路拡幅などを位置づけた地区計画を都市計画決定
- ④工業団地新規開発地区（実施状況△）
 - ・クリスタルタウン工業ゾーンは造成済、その他は工業需要の低下を受け未実施

(3) その他の施策の実施状況

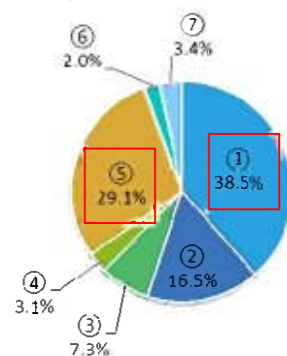
- ・道路：県道勢和兄国松阪線バイパスをはじめ順次整備中
- ・公園：のびのびパーク天啓の拡張工事などを実施
- ・下水道：公共下水道工事は100%実施済
- ・自然環境、景観保全：五桂池周辺、のびのびパーク天啓周辺で風致地区などを指定

町民意識調査結果

(1) 町の将来イメージ

<多い意見>

- ①生活環境に優れた住みやすい住宅地
- ⑤山や川などの自然環境が豊か



(2) 優先度の高い施策

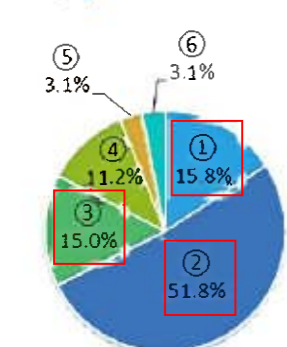
<満足度が低く、重要度が高い施策>

- ・公共交通機関の利便性
- ・雇用の場の充実
- ・生活道路の整備
- ・医療・福祉サービスの充実
- ・防災対策
- など

(3) 多気駅周辺の整備について

<多い意見>

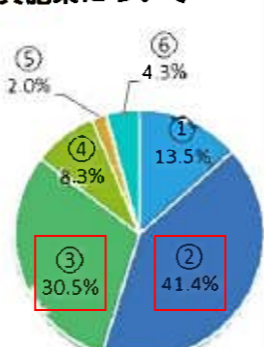
- ②駅前広場整備などアクセス機能向上
- ①交通利便性の高い住宅地として整備
- ③生活利便施設（店舗など）の充実



(4) 産業・観光振興施策について

<多い意見>

- ②健康、美容、農業など多角的な産業振興
- ③企業、高校、住民などの連携による産業振興



まちづくりの課題

- ①人口減少下における子育て世代が住みやすい住環境の確保
- ②多気町の風土や立地環境を活かした産業・観光の振興
- ③日常生活の移動しやすさを支える交通環境の向上
- ④恵まれた自然環境の保全・活用
- ⑤災害に強いまちづくり
- ⑥広域連携による高齢化社会を見据えた生活サービス機能の確保

まちづくりの理念

<まちづくりのテーマ>

「つながる力 ふれあう心 共につくる“ええまち”多気町」

本計画は、「ええまちづくりプラン」（基本構想）の実現のための都市計画、まちづくり分野の基本的な方針とする

人口、土地利用フレーム

<人口推計>

H22:15,438人 ⇒ H37:14,200人（多気町人口ビジョンと同一）

<人口、製造品出荷額などの推計から想定される必要市街地面積>

住宅地は相可地域にて約4ha必要、商業地・工業地は現在の用途地域面積で充足

まちづくりの目標

1 子育て世代などが住みよい住環境が確保されたまち

公共交通や生活サービス施設の利便性の高い地域において、人口維持の牽引役となる子育て世代をはじめとした、多様な世代が住みやすい住環境の確保を図る。

- ①交通利便性が高い多気駅周辺を重点整備地区に位置付け、駅前広場やアクセス道路の整備、道路沿いの住宅開発の誘導を推進



快速みえが13往復/日停車



多気駅周辺拠点整備イメージ

- ②町役場・クリスタルタウン周辺を都市拠点、相可台団地・相可一区二区周辺を生活拠点とし、引き続き良好な住環境を維持・確保

2 地域風土や資源を活かした産業・観光が元気なまち

既存の農業、製造業などの産業に加え、健康、医療、美容などの複合的な工業機能の導入や、自然環境や歴史的資源を活用した観光振興を推進する。

- ①クリスタルタウン工業ゾーンの早期分譲や、多気工業団地（第3期）の開発誘導を推進



クリスタルタウン開発状況

- ②産学官の連携による工業振興、観光振興の推進



まごの店（上）

アクアイグニス多気整備イメージ（右）

3 日常生活のおてかけを支える交通環境が整ったまち

持続的な公共交通ネットワークの構築、生活道路等の整備を進める。

- ①路線バス、町営バス、エリアタクシーなどの公共交通機関の利便性向上



エリアタクシー

- ②地域間を連絡する幹線道路や、身近な生活道路の整備



県道勢和兄国松阪線バイパス

4 恵まれた自然環境を継承するまち

豊かな自然環境、優良農地などを活かした魅力的な地域づくりを進める。

- ①川や山林などの豊かな自然環境の保全、景観や観光資源としての活用



楯田川

- ②優れた農業生産環境と景観を形成する優良農地の保全



優良農地

5 防災、減災を地域で進めるまち

南海トラフ大地震、風水害などに対し、ソフト、ハードの施策を推進する。

- ①建物耐震化、河川改修など、ハード施策の推進
- ②自主防災組織育成・支援、防災無線整備などのソフト施策の推進



防災訓練実施状況

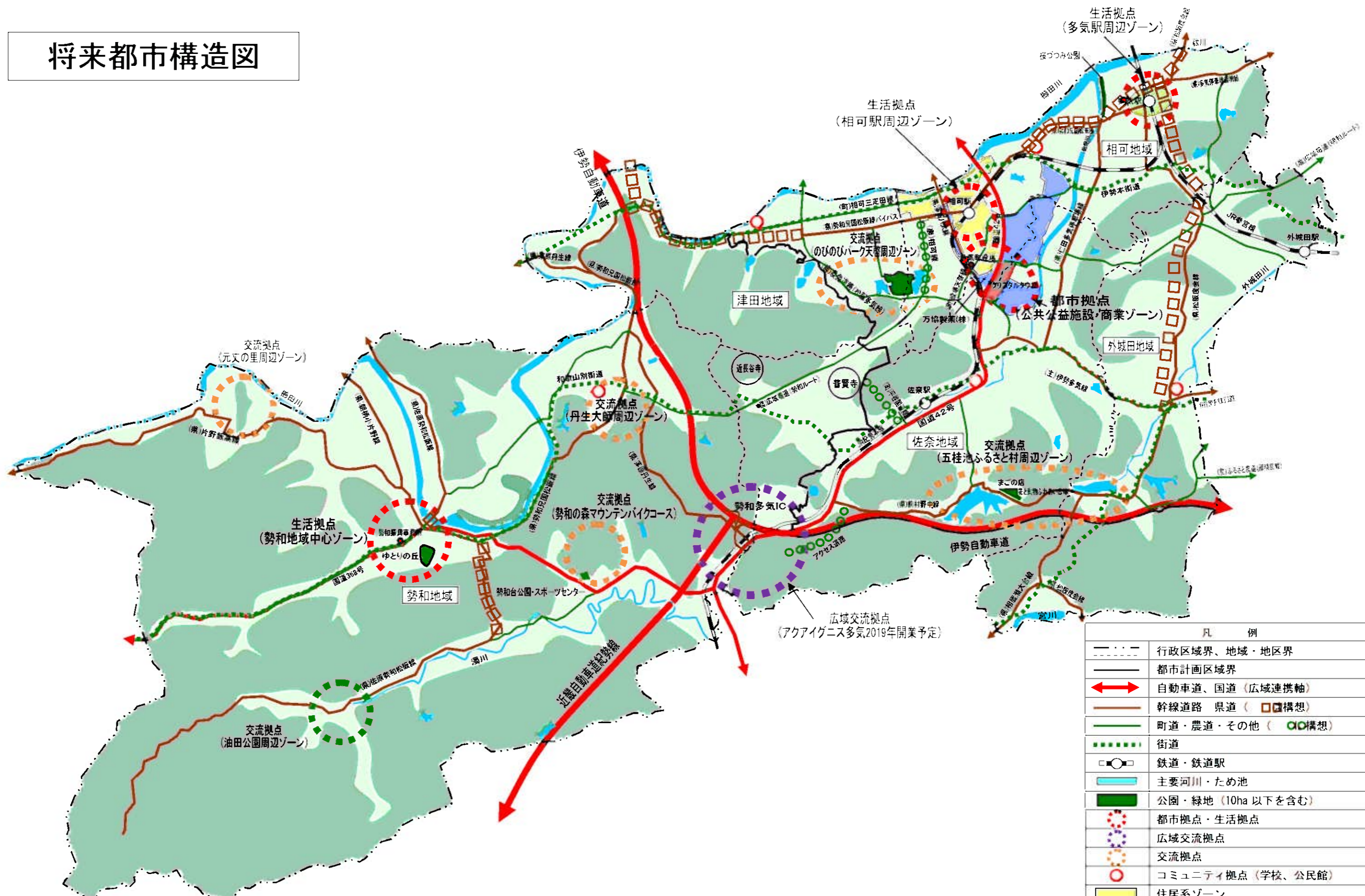
6 周辺市町と連携し生活サービス機能を確保するまち

救急医療・福祉などの機能を、周辺市町との連携により確保する。

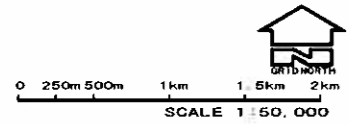
- ①「松阪地域定住自立圏共生ビジョン」に基づいた、1市3町（松阪市、多気町、明和町、大台町）の連携による、救急医療体制、福祉などの確保

- ②町内の既存の医療、福祉、商業施設の維持・確保

将来都市構造図



凡 例	
-----	行政区境界、地域・地区界
————	都市計画区域界
↔	自動車道、国道 (広域連携軸)
———	幹線道路 県道 (構想)
———	町道・農道・その他 (構想)
.....	街道
	鉄道・鉄道駅
	主要河川・ため池
	公園・緑地 (10ha 以下を含む)
	都市拠点・生活拠点
	広域交流拠点
	交流拠点
	コミュニティ拠点 (学校、公民館)
	住居系ゾーン
	商業系ゾーン
	工業系ゾーン
	田園集落地ゾーン (農業地域)
	山林ゾーン (森林地域)



■地域区分

以下の5つの小学校区に区分し、地域別構想を策定した。

■地域区分

地域	大字名	
	都市計画区域内	都市計画区域外
1.相可地域	相可（一区、二区）、相可台、荒蒔、兄国、朝長（上朝長、中朝長、下朝長）、弟国（南弟国、北弟国）、河田、多気、東池上、西池上	—
2.佐奈地域	五佐奈、西山、四神田、油夫、五桂、仁田、平谷、前村（一部）	前村（一部）、神坂、長谷
3.津田地域	井内林（一部）、佐伯中（一部）、三疋田（一部）、四疋田（一部）	津留、牧、鋸形、井内林（一部）、佐伯中（一部）、三疋田（一部）、四疋田（一部）
4.外城田地域	野中（一部）、田中、森荘、矢田、笠木、土羽	相鹿瀬、野中（一部）
5.勢和地域	—	波多瀬、片野、朝柄、古江、色太、土屋、車川、上出江、下出江、丹生



■相可地域

<将来像>

●町の中心地区としての都市機能の集積と、駅周辺の利便性の高い住環境を形成するまち

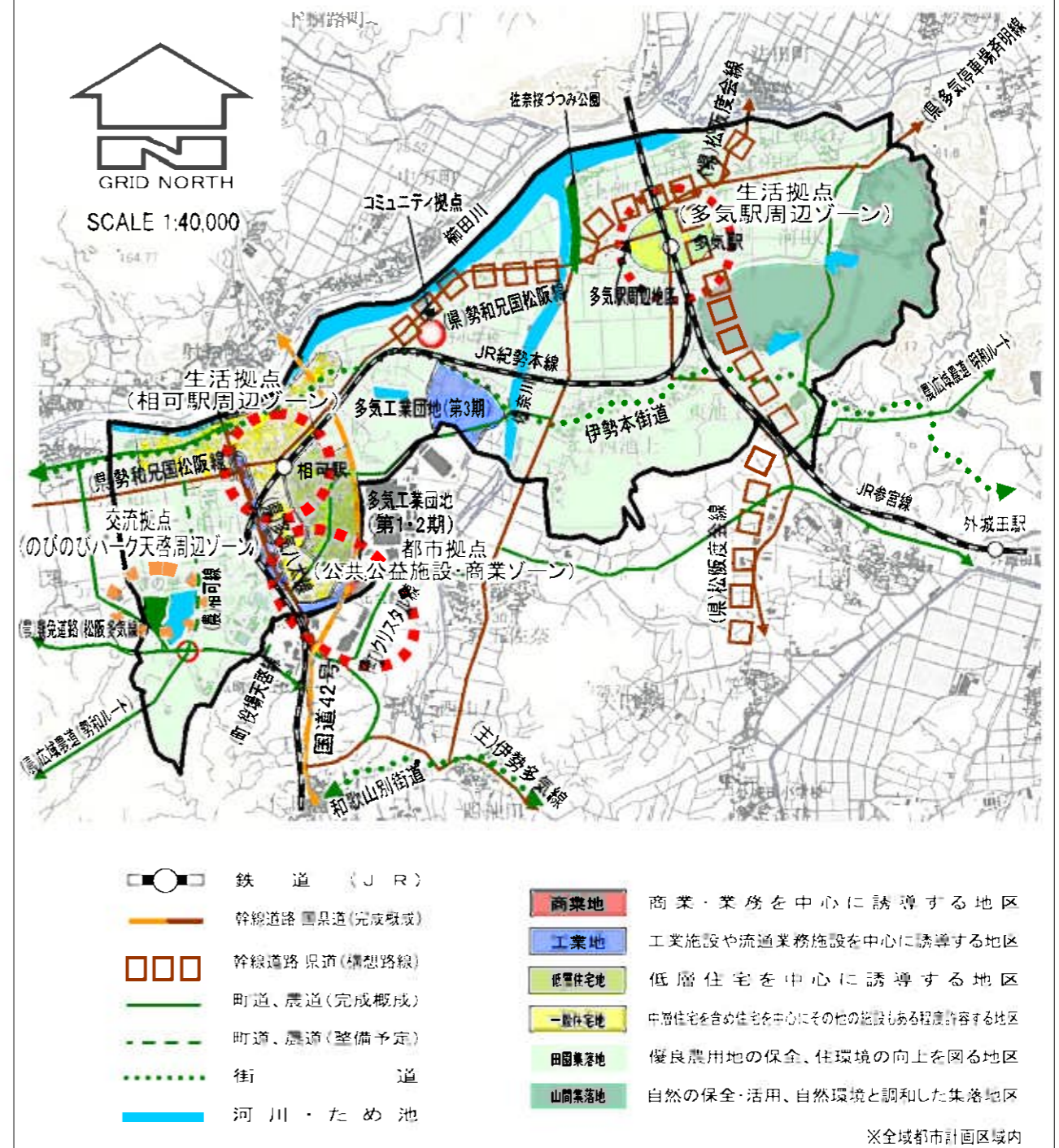
<方針>

- 多気駅周辺の道路整備など交通結節点機能の向上と、利便性の高い住宅地の形成
- 相可駅～相可高校周辺の生活道路拡幅等の住環境改善
- 工業系用途地域における企業誘致

<将来人口>

●平成26年：4,482人 ⇒ 平成37年：5,100人（約620人増）

相可地域整備方針図



■佐奈地域

<将来像>

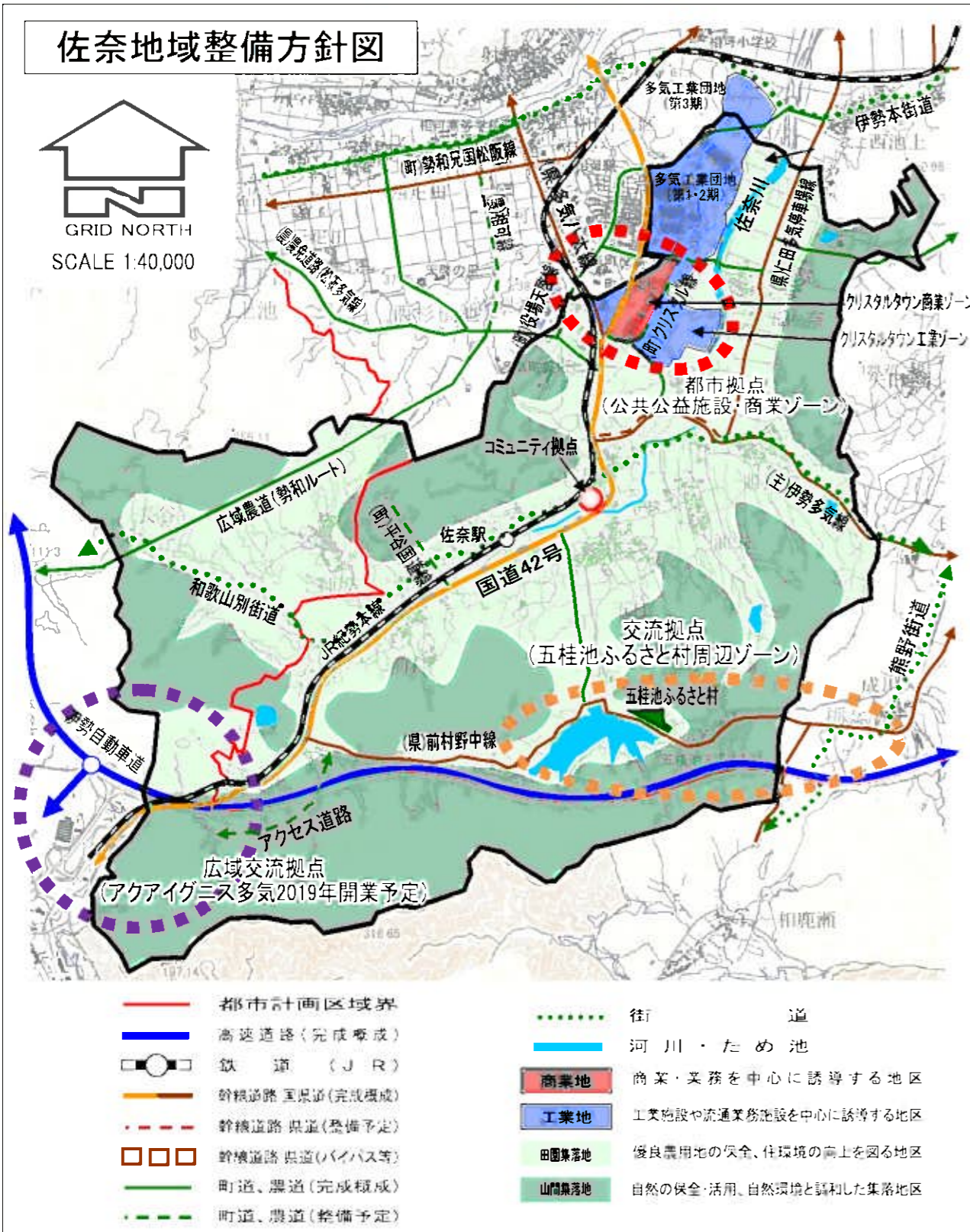
- 産学官の連携による交流拠点の整備・活用促進と快適な生活環境をそなえたまち

<方針>

- 産学官の連携による、健康、食、自然などをテーマとした魅力ある広域交流拠点（アクアイグニス多気）整備や五桂池ふるさと村の充実・活用
- 自然環境との調和、道路整備等、快適な生活環境の確保

<将来人口>

- 平成26年：2,800人 ⇒ 平成37年：2,030人（約770人減）



■津田地域

<将来像>

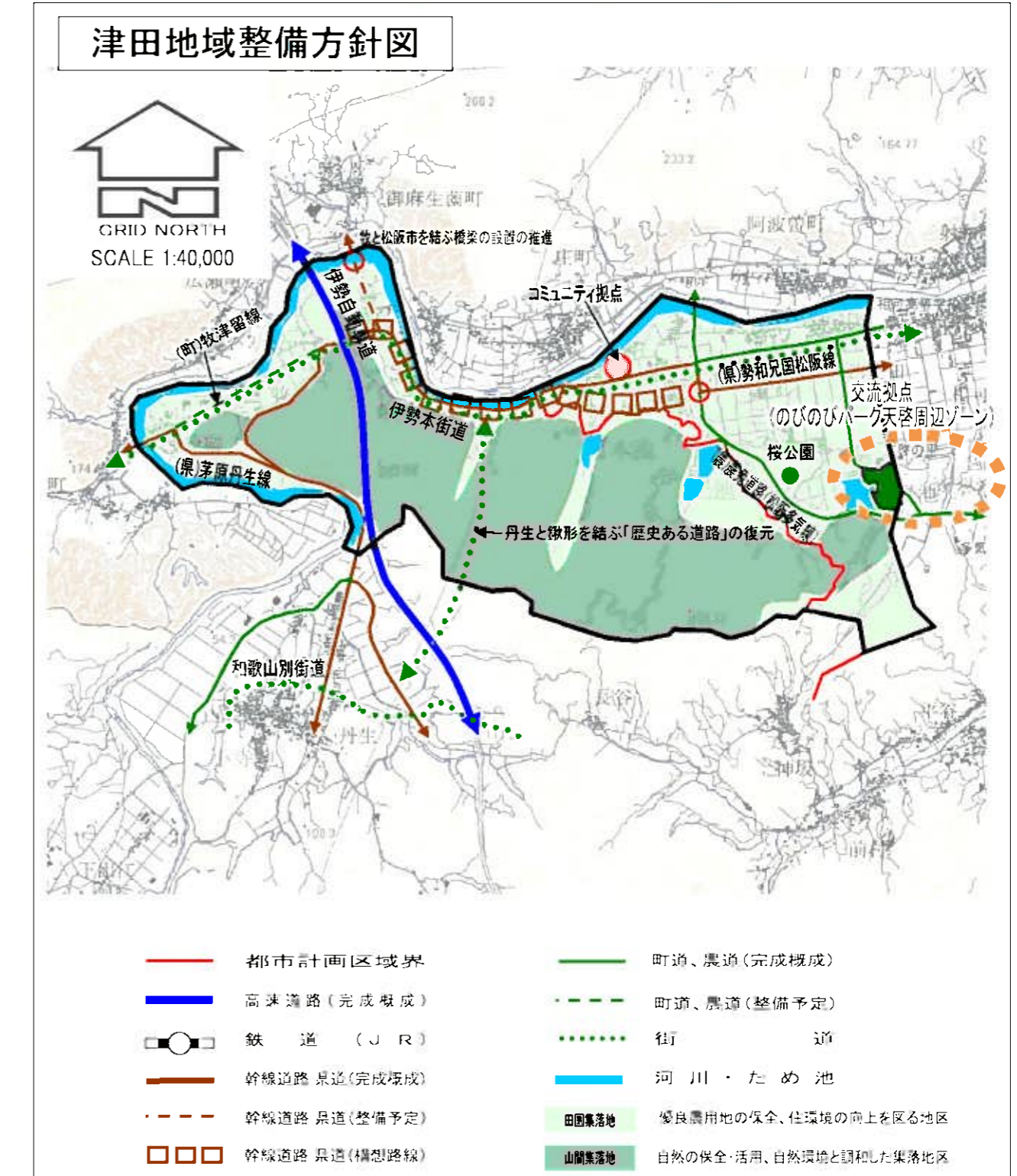
- 緑豊かな山なみや楯田川の豊かな水辺環境とともに、安心して暮らせる心安らくまち

<方針>

- 県道勢和兄国松阪線の整備促進による交通環境、生活環境の充実
- 伊勢本街道沿い等の歴史資源の活用、PR
- 楯田川の防災強化など、災害に強い安全安心なまち

<将来人口>

- 平成26年：1,498人 ⇒ 平成37年：1,320人（約180人減）



■外城田地域

<将来像>

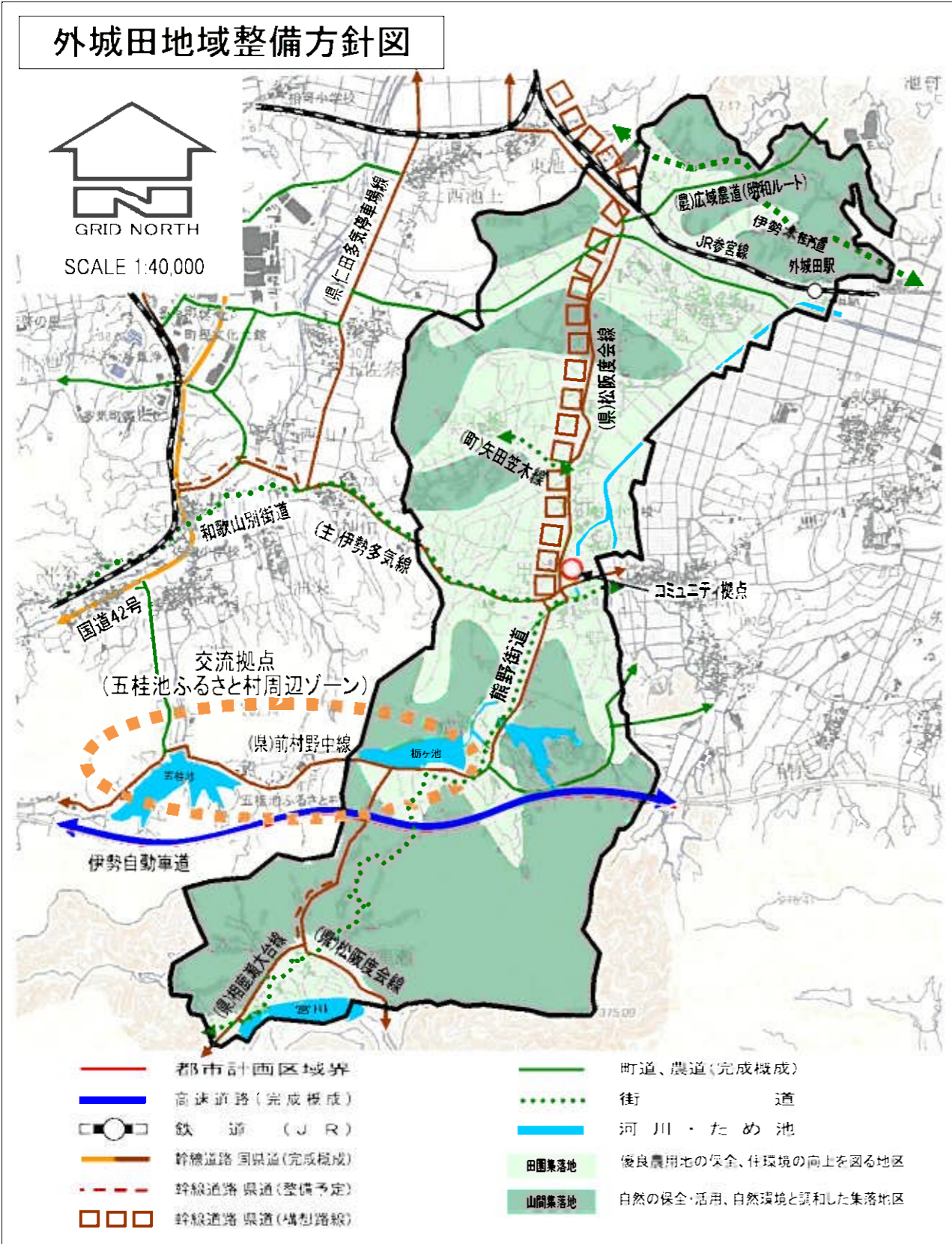
- 道路ネットワーク強化による快適な生活環境と地域資源の活用による魅力をそなえたまち

<方針>

- 県道松阪度会線の整備促進等による交通環境、生活環境の充実
- 熊野街道、伊勢本街道、笠木御所、栃ヶ池等の地域資源のPR、保全、活用

<将来人口>

- 平成26年：1,596人 ⇒ 平成37年：1,420人（約180人減）



■勢和地域

<将来像>

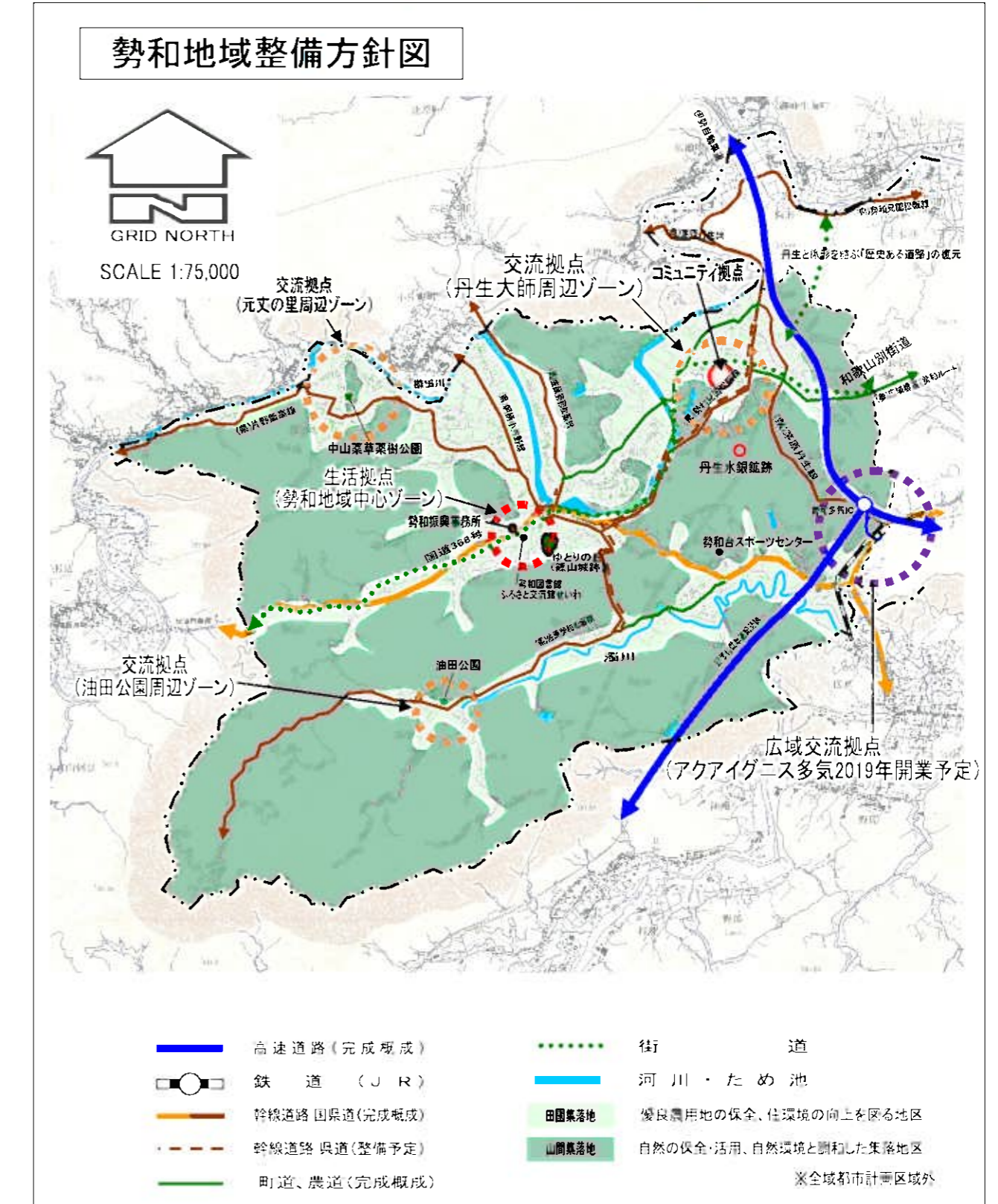
- 歴史・文化・自然資源の活用による、地域内外の人々の交流を育むまち

<方針>

- 勢和振興事務所等を中心とした生活拠点における、高齢者等の交流や子育て支援等の機能の充実
- 丹生地区や榎田川等における歴史・文化・自然資源の活用
- 地域内外をつなぐ道路の整備

<将来人口>

- 平成26年：4,961人 ⇒ 平成37年：4,330人（約630人減）



目標とする推進プログラム

区分	項目	事業手法	推進プログラム		
			短期計画組 (概25年度以降)	中長期計画組 (概25～40年度以降)	
土地利用	住宅地	多気駅周辺の住宅系土地利用の整備（住宅、生活利便施設等）	民間開発誘導／用途地域指定／農振農用地除外	●	
		相可台地区の住環境維持向上	用途地域（継続）／住みよい住環境のPR	（継続）	
		相可駅北から相可高校までのエリアの住環境維持向上	用途地域、地区計画（継続）／住みよい住環境のPR	（継続）	
	商業地	クリスタルタウン商業ゾーンの商業機能の維持向上	用途地域（継続）	（継続）	
		各地域における幹線道路沿道の小店舗の誘導	バイパス整備等にあわせた誘導		●
	工業地	多気工業団地、クリスタルタウン工業ゾーンの工業機能の維持向上	用途地域（継続）／企業誘致PR	（継続）	
		幹線道路沿道等の工業地の誘導	民間開発誘導	●	
	集落地	五桂池ふるさと村・栃ヶ池周辺、のびのびパーク天啓周辺環境維持保全	特定用途制限地域、風致地区（継続）	（継続）	
		その他集落地の住環境維持向上	民間開発誘導／地域住民による美化活動等	●	
	農地	農業振興策の推進	多面的機能支払交付金等活用／6次産業誘導等	（継続）	
都市計画区域外	勢和多気 IC 周辺の広域交流拠点形成と環境保全の調和	都市計画区域、準都市計画区域への指定、都市再生整備計画区域への指定		●	
全域	空き家の、町外からの移住先や店舗・事務所等としての活用推進	空き家バンクの充実（継続）	（継続）		
	不良空き家の特定及び対応の検討	空家調査、特定空家等に対する措置	●		
交通	交通結節点	多気駅周辺の駅前広場、道路整備	都市再生整備計画事業等	●	
		多気駅改修（東側改札口設置等）、鉄道の輸送能力の向上、踏切の拡幅（相可駅周辺）	JRに要望、協議		●
	公共交通	買物、通院、通学等に利用しやすい公共交通体系構築（バス、エリアタクシー等）	地域公共交通網形成計画策定／地域公共交通確保維持事業等	●	
		国道42号の4車線化（都決部分）、部分改良	道路事業（国）		●
	幹線道路	勢和国線松阪線バイパス整備（兄国～弟国）		●	
		勢和国線松阪線バイパス整備（佐白中以西）		●	
		松阪度会線のバイパス整備（伊勢多気線以北～多気駅）、歩道設置（トンネル～相鹿瀬）	道路事業（県）	●	
		伊勢多気線の拡幅		●	
		佐原勢和松阪線の拡幅		●	
		勢和大橋の架け替え		●	
	生活道路	牧と松阪を結ぶ橋梁の整備		●	
		平谷国道線の整備		●	
		油夫相鹿瀬線の整備		●	
		矢田笠木線の整備	道路事業（町）、都市再生整備計画事業等	●	
		相可線の整備		●	
交通安全	アクアイグニス周辺道路の整備		●		
	その他生活道路の拡幅		●		
	信号・標識等の設置	警察に要望、協議	●		
交通安全	防犯灯の設置、LED化	地元にて設置及びLED化を推進し町が費用を助成	●		
	通学路のカラー舗装等安全対策	道路事業（町）	●		

区分	項目	事業手法	推進プログラム		
			短期計画組 (概25年度以降)	中長期計画組 (概25～40年度以降)	
公園・緑地	公園・緑地	のびのびパーク天啓の整備	公園事業	●	
		既設公園の維持管理、運営	町、地域住民、団体等の協働による取組	●	
	河川・ため池	河川改修、環境整備	河川事業		●
		ため池の崩壊防止	町事業		●
	上下水道	上水道施設の更新、耐震化	町事業	（継続）	
		公共下水道の接続、合併処理浄化槽設置	公共下水道事業（町）	（継続）	
	自然環境	森林の環境保全	自然公園区域、森林地域	（継続）	
		田園の環境保全	農業振興地域、農用地区域	（継続）	
		河川（櫛田川、佐奈川、宮川、濁川等）、ため池（五桂池、栃ヶ池、天啓池等）の水辺環境保全	河川事業 特定用途制限地域、風致地区（継続）※再掲		●
	景観	市街地の景観維持保全	地区計画（継続）／景観法・まちづくり条例検討／地域住民による美化活動等	●	
集落地の景観維持保全		地域住民による美化活動等／景観法・まちづくり条例検討／ソーラー設置に関する環境配慮策検討	●		
観光	観光・交流拠点（五桂池・栃ヶ池、元丈の里、油田公園、櫛田川沿いキャンプ場等）の景観維持保全	町、指定管理者、地域住民等による維持管理活動	●		
	広域交流拠点の計画誘導	民間開発事業	●		
	観光スポットの新規整備検討（観光PR看板、展望広場等）	町、地域住民、団体等の協働による検討（都市再生整備計画事業等）		●	
	歴史資源（丹生大師周辺、伊勢本街道、和歌山別街道、熊野街道、丹生～鞆形の歴史あるみち等）の散策路、周辺景観整備（観光PR、案内サイン・観光施設整備等）	道路事業（町）、都市再生整備計画事業等		●	
		町、地域住民、団体等の協働による検討（都市再生整備計画事業等）		●	
防災	河川改修	河川事業		●	
	土砂災害防止	土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域／自然災害防止事業等	（継続）		
	建物耐震化	耐震診断、耐震工事補助	（継続）		
	緊急輸送道路の機能維持	緊急輸送道路指定	（継続）		
	避難場所の指定	地域防災計画による指定、周知	（継続）		
防災訓練等による避難活動の意識向上	地域住民等による活動	（継続）			
公共施設	小中学校における地域拠点としての機能、カリキュラム充実等に応じた施設更新	施設の長寿命化、更新等と併せて検討		●	
	公民館の多世代交流の拠点としての活用	町、地域住民、団体等の協働による検討	（継続）		
	公共施設跡地等の、地域交流の場、店舗・事務所等への活用検討	町、地域住民、団体、企業等の協働による検討（都市再生整備計画事業等）		●	
	医療体制の充実	「松阪地域定住自立圏共生ビジョン」による広域医療体制の充実	（継続）		
	医療施設の維持	民間医療施設の維持・誘導		●	
	図書館の施設の維持、機能向上	施設の長寿命化、更新等と併せて検討	（継続）		
	ごみ処理の適正実施、今後の広域連携の検討	周辺市町との広域連携の検討	（継続）		
墓地・火葬場の維持管理促進、広域連携の検討	施設の維持管理促進、火葬施設の広域連携検討	（継続）			

都市環境・景観の形成